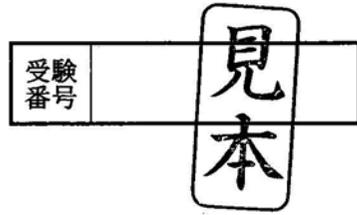


'13

後期日程



保健体育問題

(教育学部)

注意事項

1. 試験開始の合図があるまで問題冊子を開いてはいけません。
2. 問題に落丁，乱丁，印刷不鮮明の箇所等があった場合には申し出てください。
3. 受験番号は答案用紙の所定の欄に記入してください。
4. 解答は指定の答案用紙に記入してください。
5. 問題冊子と下書用紙は持ち帰ってください。
6. 答案用紙は持ち帰ってはいけません。
7. 時間は 60 分です。

◇M15(707—90)

1 文中の に適語を入れなさい。

- (1) 人間が健康で豊かな生活を送る上で必要なからだの能力を体力といいます。体力は、からだを動かすために必要な行動体力(行動力)と、外部環境からからだを守るために必要な ① に分けられます。
- (2) 筋力を高める代表的なトレーニング方法である ② は、静的トレーニングとも呼ばれ、筋肉の長さを変えずに収縮する、筋の等尺性収縮を利用したトレーニングで、腕や足などの関節の角度が変化しない方法です。
- (3) 練習によって技能は上達しますが、いくら練習をしてもいっこうに上達せず、一時的に進歩が停滞することがあります。このような時期を ③ といい、いわゆる「壁」につきあたっている状態です。また、技能がある程度上達した段階で、技能が一時的に低下してしまうことを ④ といい、慢性的な疲労や精神的な悩みなどが原因で起こります。
- (4) 生涯を通じてスポーツを楽しむためには、個人の年齢・体力、興味、ライフスタイルに応じた多様なかわり方があります。文化としてのスポーツとのかかわり方として、「おこなう」「みる」に加えて ⑤ ・ ⑥ があります。

2 運動技能は、一般的に3つの過程を経て上達していく。3つの過程について順番に説明しなさい。

- 3 交通事故の発生にかかわる要因は、大きく3つに分類することができる。
「3つの要因」とはどのようなものか、それぞれについて簡潔に説明しなさい。
(記述する順番は問わない)
- 4 「心身の相関(心身相関)」とはどのようなことをいうのか、具体的な例をあげて
説明しなさい。(250字以内)